

『命の山王』

No.35 令和6年2月20日(火)

立つより返事

みなさんの朝の挨拶で、毎日気持ちのよいスタートを切ることができています。立ち止まっただけの挨拶の大切さをよく理解して実践しているからだと思います。特に3年生は、間近にひかえた入試を意識してか、丁寧にお辞儀をしていく姿が多くなっています。

さて、挨拶と同じくらい大切にしたいことに「返事」があります。挨拶については、何度か伝えてきましたので、今回は「返事」について書きたいと思います。

日本には「立つより返事」ということわざがあります。「人に呼ばれたときは、立ち上がるよりも先に返事をしなさい」という意味です。昔から、立つよりも早く気持ちのよい返事を相手に届けることを、日本人は美德として大切にしてきました。

では、なぜ早くて気持ちのよい返事は大切なのでしょうか。

日本一の実業家と呼ばれている斎藤一人（さいとうひとり）さん（※）という方は、自身の著書の中でその理由を「早い返事は、信頼を高める」と書いています。

例えば、仕事をする上で社長が「こういうことをやろう」と思いつき、企画書を送付したとします。その時、返事がなかなか返ってこない、「どうしたのかな」「あまり乗り気じゃないのかな」と思うてしまうそうです。

反対に、すぐに返事をくれると、「やる気があります」「あなたのことを真剣に考えています」という気持ちが伝わり、安心して仕事を頼めるそうです。返事を早くすることで、こちらの気持ちを相手に伝えることができるのです。



挨拶が「出会った相手に対して、自ら心を開く」動作だとすれば、返事は「こちらの気持ちを相手に伝える」動作ということになります。ですから、「挨拶と返事を大切にしなさい」と言われているのです。「はい」というたった二文字ですが、返事を返す早さや言い方によって相手に与える印象が随分と変わるということです。これまでのみなさんの返事はどうだったでしょうか。この機会に自身の返事についても見直してみてください。

また、3年生は面接試験や卒業式で「はい」と返事をする機会があります。その返事は誰に聞かせるのでしょうか。その返事にはどんな思いを込めるべきでしょうか。面接試験や卒業式までによく考えてみてください。

※斎藤一人（さいとうひとり）さん

日本でたくさんのお金を稼ぎ、たくさん税金を払っている人のランキング「長者番付」で、12年間トップテン入りし、日本一の実業家と呼ばれています。

〔生徒指導主事：相場記〕

寒暖差が大きくなっています。体調管理に注意！

暖かくなったと思ったら、冬の寒さが戻ってくるなど、寒暖の差が大きくなっています。衣服等で体温調節しながら、体調管理に気を付けましょう。特に入試を控えた3年生は、十分に注意しましょう。

卒業式の練習が始まります！

今年の卒業式は、5年ぶりに1・2年生が参加して行われます。今年は全校生徒で、日本一の卒業式を創り上げていきましょう。